

ジンコソーラー、量産型モジュールの耐PID性能がダブル IEC 標準に達す

上海、2017年7月11日、世界をリードする太陽光パネルメーカーのジンコソーラーホールディングス株式会社（“ジンコソーラー株式会社”）（NYSE: JKS）は、世界初の量産型のPVモジュールがダブル IEC62804 標準の耐PID性能テストを通過したPVモジュールメーカーになると発表した。同社の量産レベルのモジュールが、マイナス1500Vのシステム電圧バイアスにおける摂氏85度、相対湿度85%（ダブル85）の条件下で安定作業96時間、マイナス1000Vのシステム電圧バイアスにおける摂氏85度、相対湿度85%（ダブル85）の条件下で、192時間も安定した作業ができる。

ジンコソーラーは抜群的な耐PID性能により、モジュールに高品質と信頼性を確保し、太陽光発電所に穏やかな運営を提供する。特に、高温多湿の劣悪な環境で、25年の使用期間で穏やかに稼働できる。

「製品の使用寿命で、ジンコソーラーはずっと高品質の承諾を実行しています。ですから、モジュールの信頼性を確保するために、弊社は製品に対して厳しいエクストラ検査を行います。そして、我々はIECに関する耐PID標準は倍にアップしました。ダブル85の条件では、マイナス1000Vのシステム電圧バイアスにおけるテスト時間は96時間から192時間に延長し、マイナス1500Vのシステム電圧バイアスにおけるテスト時間は96時間に設置しました。弊社は高品質の製品が投資家にもっとも高い収益をもたらすものを信じています。」とジンコソーラーのCEO チンカンピンがコメントした。

（IEC62804: 国際電気標準会議(IEC)が定めた太陽光発電モジュールの電圧誘起出力低下（Potential Induced Degradation、PID）の検査方法に関する基準です）